

## 11 月 27 日：VN 指数は弱い投資家心理で下落 (VN-Index -0.69%)

- ヴァン・ティン・ファット事件、タン・ホアン・ミン事件、タン・ヒエップ・ファット事件に関する最近の騒動を受け、投資家たちは慎重姿勢となっている模様。斯くして、今週のVN 指数は低調な推移で始まった。
- 市場は大きく下落した。銀行や金融サービスなどの金融セクターが下落を主導した。その一方、不動産セクターはややプラスに転じたが、そのほとんどはビンググループ銘柄に支えられていた。
- キャッシュフローは前営業日と比べ大幅に縮小し、下支えもなく相場は徐々に売り優勢に傾いていった。
- 後場には一時回復を試す展開が見られたものの、十分な勢力を集めることはできず、結果、相場はさらに下落幅を広げた。
- 相場は売り優勢となり、165 銘柄が上昇、351 銘柄が下落、85 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 38.6%減少し、売買代金はわずか 11.8 兆ドンとなった。

### VN30 指数は低調 (VN-30 -0.82%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 5 銘柄、下落が 23 銘柄、2 銘柄が変わらずと、市場全体よりもマイナスだった。
- VHM (+1.79%)、VIC (+1.21%)、SAB (+2.06%) が相場を支えた。
- 一方で、SSI (-3.13%)、STB (-3.18%)、TCB (-2.06%) といった銘柄は大きく売られた。

### セクター・個別株の動き

- YEG (+6.81%) は、同社が既存株主に対して 1000:722 の割合で新株を発行し、定款資本を増加させることを承認。これにより、ストップ高まで急騰した。

- MWG (-1.43%) は、業績不振で 2023 年第 4 四半期に 200 店舗の閉鎖を計画していることから下落基調を再開した。
- 外国人投資家による買い越し額と売り越し額は拮抗し、400 億ドルの買い越しとなった。個別銘柄では HPG (-0.38%) に買いが集まった。一方、SSI (-3.13%) は最も売られた。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。